

脳科学総合研究センター開所記念式典、国際シンポジウムを開催

脳科学総合研究センターの発足を記念して、11月10日に開所記念式典を和光本所で行いました。特設会場で行われた記念式には、加藤紀文科学技術庁政務次官、フランスにある国際脳研究連合の事務局長・王立スウェーデン科学アカデミー会員デビット・オットソン博士をはじめ、国内外から300人の脳科学研究に

携わる関係者が出席しました。

また、翌11日には東京・芝公園の東京プリンスホテルにおいて、利根川進マサチューセッツ工科大学教授、『Science』誌のフロイド・ブルーム編集長をはじめ各国のトップサイエンティストを招いて、開所記念国際シンポジウム「脳科学の未来と展望」を開催しました。シンポ

ジウムでは「脳科学の未来」、脳の働きを解明する「脳を知る」、脳の病気の克服を目指す「脳を守る」、脳型コンピューターの開発を試みる「脳を創る」の4つのセッションが開かれ、計約700人にもものぼる多数の参加者がありました。



開所記念式典 加藤政務次官



開所記念式典 D. オットソン事務局長



国際シンポジウム 利根川教授